

令和8年度 高遠北小学校グランドデザイン

本校基本理念 「国の秀に 生れいでし学び舎 道はるかなり 直に歩まむ」

「秀」…高くすぐれた所 「生れいでし」…堂々と姿を現した 「直に」…一心不乱に
(S54.4 開校記念之碑の言葉)

県教育理念
『子どもの
内なる力を
伸ばす教育』

学校教育目標 『なかよし学校・がんばり学校』
～児童が、人とのつながりの中で「自立」していくことを願って～

上伊那の
教育理念
『はじめ
に子ども
ありき』

児童に願う姿

1. 相手を思って関わります
2. 「自分」と「友と」で考えます
3. 励まし合って鍛えます

本年度の重点：児童の「やる気」を支える・児童に委ねる

スローガン
やってみよう！
応援しよう・
してもらおう！

全校研究テーマ
自ら考え、友と学び合う子ども
～うれしい研究・たのしい研究～

2. 「自分」と「友と」で
考えます
【主体的・対話的で深い学び】

- (1) 確かな学力
- 児童の今の姿を理解する工夫
 - 教材の本質に迫る教材研究
 - 自らの考えを持つ場、友と関わり合って追究する場の設定、少人数を生かした授業形態の工夫
 - ねらいに応じた学習場面の設定の工夫
 - 合同授業の実践や、体験、発表、交流などの活動・学習

授業づくり（市の提言より）

- ① 子どもの思考が思わず動き出す課題
- ② 自然な対話が生まれる環境
- ③ 「自分が実際にやってみる」教材研究

- (2) 日々の校内研修の活性化
- 研究部会での語り合い
 - 公開授業等を通しての学び合い
 - ICT活用教育の研修と推進
 - 算数科等の教科指導研修
 - 地域や学校の周りにおける素材の魅力学ぶ研修

- (3) 家庭と共に
- 家庭学習の意義やあり方等についての情報発信

1. 相手を思って関わります
【児童会活動・交流活動・縦割り班の活動・人権教育】

- (1) 児童会活動での学び
- 児童からの提案やちょっとした工夫を大切に、共に創造していく

児童会の目標(ねがい)
『
』

- ◇行事目標とその取組を柱に
- ・児童会集会、いいとこめがね、あそびの日、みやのはら祭りなど
 - ・あいさつ、返事、礼儀、場に合った声量など

- (2) 交流活動での学び
- 様々な人々や施設との体験・交流で、視野・価値観を広げていく
 - ・三宅小、保育園、高遠小、長谷小、地域の方との交流等

- (3) 縦割り班活動での学び
- 上級生の姿、言動に学ぶ
 - ・自然で学ぶ日（全校飯盒炊さん）
 - ・みやのはらの活動（花壇づくり）
 - ・通学班会

- (4) 人権教育
- 自分から普段の生活を振り返りながら、成長できるような支援
 - ・なかよし旬間・人権集会

○学校がつくる教育環境

- ・家庭、地域から信頼される学校→情報発信と共有を大切に
 - ・資質向上に向け研鑽を積む職員
 - ・学校や郷土を愛し、自分の住む地域を語れる子どもを育む
 - ・小規模特認校としての学校運営
- ※「守り 育み 学び続ける」

○自然・歴史・地域から学ぶ【生活・総合的な学習の時間を中心に】

- ・学校園、学級園での栽培活動・地域探訪・学校周囲での野外活動
- ・様々な校外学習・歴史博物館、美術館、民俗資料館などへの訪問学習
- ・食育、花育、高遠そば、孤軍高遠城、ふるさと伊那谷学の推進など

○保護者、北小子どもを守る会・学校評議会、地域の方の理解と支援

- ・信州型コミュニティスクールの推進（地域を学ぶ日、環境整備など）
- ・学校行事、授業参観への招待、学校評価
- ・読書ボランティア（おはなしのもり）、クラブ活動、放課後学習支援など